

ジュニア日本代表男子選手の世界大会個人戦不出場に関する経緯についての報告

日本パデル協会およびパデル業界を応援してくださっている皆様、パデル愛好家の皆様には常日頃より大変お世話になっております。2025 年の 9 月下旬から 10 月上旬にかけて、スペインのレウスにおいてジュニア地域予選および世界大会が開催されました。団体戦において男子は予選から、女子は世界大会からの出場となりました。個人戦においては、女子は世界大会の 1 回戦からドローに入れたのですが、男子につきましては世界大会不出場ということになり混乱が生じたので、パデルを愛するすべての皆様に情報を共有させていただき、再発防止に努めて参りたいと考えております。

■ 問題の概要

ジュニア世界大会において、中塚をはじめとするジュニア日本代表運営チーム（中塚、田中、サーカー、村澤、瀧田）は「団体戦で予選を通過しなくても、各国から各カテゴリーにおいて 1 ペアは個人戦に出場できる」と誤認していました。

しかし実際には、個人戦は予選を通過した国のみが出場できる 32 ドロー形式であることが、予選敗退後の 2025 年 9 月 28 日午後に発表されたドローに日本選手の名前がなかったことで初めて気が付き、ジュニア日本代表チーム内に混乱を招き、出場できると思っていた選手、保護者の皆様、関係者の皆様に大きな失望をもたらしてしまいました。

■ 事実確認

2025 年 7 月 30 日に FIP から発行された初版の Factsheet には、個人戦は予選通過国のみが出場可能な 32 ペアのドローで行われると明記されていました。また、ワイルドカードの申請は 9 月 15 日までにを行うよう、明記されていました。

この Factsheet はその後 14 版まで更新されましたが、個人戦に関する条件に変更はありませんでした。

■ 認識の誤りの原因

なぜ「予選で敗退しても各カテゴリーにおいて 1 ペア出場可能」と誤認していたかということ、2025 年 7 月 10 日に FIP から送られてきた初期草案にはそのような記載があったためです。

しかし、正式な Factsheet ではこの内容が修正されており、私たちジュニア日本代表運営チームがその点に気づけなかったことは弁解の余地がなく、チームとしての重大な落ち度であると深く反省しております。

■ FIP とのやり取りについて

FIP への団体戦および個人戦の申請は適切に行っており、FIP 側からも日本側に申請ミスはなかったとの確認を得ておりますが、ワイルドカードの申請は行っていませんでした。

申請に関する時系列としては以下の通りです。

- ・個人戦の申請は日本時間の 9 月 4 日 22 時 24 分（スペイン時間 9 月 4 日 14 時 24 分）に行った。申請期限の 9 月 3 日には遅れていたが FIP には正式に受理された。

この申請フォームは男女併用、団体戦個人戦併用のものであり、この時点では男子も各カテゴリーにおいて 1 ペアずつは入れると誤認していたので、ワイルドカードの申請をしなくてはならないという意識は無く、ワイルドカード単独での申請はしていなかった。

- ・その後、女子選手の 1 名が出場できなくなったことや、男子選手のうち 1 名のパスポート情報の入力不足していたことなどから、日本時間 9 月 16 日 15 時に申請フォームを再送した（この送付はワイルドカードの申請ではなかった。）。

■ 再発防止策

今後は、トリプルチェック体制を構築し（申請担当者がまずはファクトシートをきちんと読み込んで申請フォームを作成すること→ヘッドコーチおよびコーチがファクトシートと申請フォームをダブルチェックすること→更に会長および GM がトリプルチェックをすることにし、同様のミスを二度と繰り返さないよう徹底してまいります。また、今後は練習会の前後に選手および保護者の皆様と共にファクトシート等の確認会を設け、認識の齟齬がないように努めてまいります。

問題の経緯と概要、再発防止策につきまして上記のとおりであり、選手・保護者・関係者の皆様には説明会を実施し、謝罪を申し上げた次第です。日本パデル協会としまして、今回の問題を深く反省し、今後二度と同様の問題を起こさぬよう、また、今後の運営がよりよくなるように努めて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

日本パデル協会 会長 中塚浩二

日本代表 GM 田中章生

事務局 サーカー 壽梨

ヘッドコーチ 村澤智明

コーチ 瀧田瑞月
